

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立安立小	学校	児童数	74
---------	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.56	19.74	35.18	38.49	51.53	9.28	156.95	22.92	55.21
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.72	19.17	36.72	35.66	36.97	9.81	149.36	13.03	53.00
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

体力合計点：男子（55.21点）は全国・大阪市平均を大きく上回り、女子（53.00点）も大阪市平均を上回っています。全体での対全国比は1.01（男子1.05、女子0.98）となり、学校目標（対全国比1以上）を概ね達成しました。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」：「好き」と回答した児童の割合は、5年生で80.8%、3～6年生全体で74.7%でした。これは大阪市平均の69.1%を5ポイント以上上回っており、児童の運動に対する意欲は高い傾向にあります。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合：具体的な数値は資料に明記されていませんが、生活習慣（早寝早起き、朝ごはん等）には個人差が大きく、学校の取組だけでは改善が難しい層が存在することが課題として挙げられています。

学校の課題：男女ともに「握力」が全国・市平均を下回っており、女子については「20mシャトルラン」と「反復横とび」も全国平均に届いていないことが顕著な課題です。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

#### 成果

体育科の学習において、表現リズム遊びやチームでの話し合いの場を設けるなど、児童が主体的に、かつ楽しんで取り組める環境づくりに努めたことで、多くの種目で市平均を上回る結果を得られました。特に20mシャトルラン（男子）や立ち幅とび（男女）で高い数値が出ています。

#### 課題

特定種目の強化：全学年で「走る」活動は定着していますが、今後は「跳ぶ」「投げる」といった活動（縄跳び、マラソンカードの活用など）をさらに取り入れ、ソフトボール投げや立ち幅とびのさらなる向上を目指します。

女子の体力向上：全国平均を下回っている種目（握力、シャトルラン等）に対し、日常的に運動に親しむ機会を増やします。

生活習慣の定着：運動習慣は家庭環境の影響も大きいため、引き続き保護者への啓発を行い、学校と家庭が連携して児童の健康維持に取り組む必要があります。